

平成20年度 玉川病院看護部研修計画

	プリセプティ研修	アドバンス1研修	アドバンス2研修	エキスパート研修	マネージメント研修	看護研究	全体研修	看護助手
目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師としての自覚を持ち組織の一員としての役割行動がとれる</li> <li>2. 基本的看護の知識、技術を習得し、対象への看護が安全に提供できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常の看護業務を自立して実践できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新人看護師の看護モデルになれる</li> <li>2. エビデンスに基づいて優先順位、個別性を考慮した看護が展開できる</li> <li>3. 所属部署でのリーダーシップが図れる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護活動の中で、中心的役割を果たすことができる</li> <li>2. 専門的知識と技術を持って行う専門業務が遂行できる</li> <li>3. いかんう事態においてもリーダーシップを発揮し対応できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院の方針に沿って当該部署内の組織を運営し、部下を指導・監督する業務を遂行できる</li> <li>2. 部下の業務評価をする</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究に対する基本的な姿勢を身につける</li> <li>2. 実際の研究の中から研究のプロセスを学ぶ</li> <li>3. 研究を通して看護の質の向上に寄与する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護能力を啓発する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護助手としての自覚をもち、組織の一員としての役割行動がとれる</li> </ol>
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームにおける自己の役割を遂行できる</li> <li>2. 基礎的看護技術の訓練と応用ができる</li> <li>3. 患者情報を記録にまとめ、看護計画を立案し実践できる</li> <li>4. 患者に関心を持ち、自己啓発に努める</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複雑な疾患の相互関係を理解する知識、それに関する技術の拡大ができる</li> <li>2. 院内で活用できるリソースの種類と機能を理解する</li> <li>3. インチャージの役割の理解と訓練を行う</li> <li>4. 物品管理システムの理解ができる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームリーダーとしての役割が果たせる</li> <li>2. プリセプターとしての役割を理解し責任を果たすことができる</li> <li>3. 実習指導者としての役割を果たすことができる</li> <li>4. 研究心を持ち、自己啓発に努める</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームの推進力になれる</li> <li>2. チームリーダーとしての適切な活動ができる</li> <li>3. 後輩への個別指導ができる</li> <li>4. 社会の変化や医療の進歩に関する知識、看護ケア・管理に関する情報と知識を収集できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護について語ることができる</li> <li>2. 社会の変化や医療の進歩に関する知識、看護ケア・管理に関する情報と知識を病棟・病院運営に活かすことができる</li> <li>3. 病棟管理に必要な能力を身につける</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病棟単位に1題/年の看護研究をまとめることができる</li> <li>2. 看護問題を解決する力をつける</li> <li>3. 発表能力を身につける</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護職を専門職としてとらえた行動ができるように自己啓発の動機づけになる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームの中における看護助手の役割が理解できる</li> <li>2. 看護師の指導のもとで介護技術を身につけ安全に実践できる</li> </ol>
研修の内容と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 採用時オリエンテーション（基礎技術講義・実践・ビジネススマナー）</li> <li>2. 年5回の集合教育</li> <li>3. 応急蘇生法（デモ）</li> <li>4. 事故防止対策 危険予知トレーニング</li> <li>5. 院内感染防止対策（講義）</li> <li>6. ME機器の取り扱いと管理（デモ、講義）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリセプターの理解</li> <li>2. プリセプターの役割機能、指導方法について学ぶ</li> <li>3. 年4回の集合教育</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリセプターシップの理解、プリセプターの役割機能、指導方法について学ぶ</li> <li>2. 年6回の集合教育</li> <li>3. メンタルヘルス教育</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固定チームナーシングの理解（GW・講義）</li> <li>2. チームリーダー研修（院外研修、伝達講習）</li> <li>3. リスクマネージメント研修（院外研修、伝達講習）</li> <li>4. 玉川病院の医療全般の現状について（講義）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 抄読会</li> <li>2. 調査</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究の具体的な取り組み方を学ぶ（講義 実践）</li> <li>2. 看護研究発表会</li> <li>3. パソコン研修（Excel / Word）</li> <li>4. プレゼンテーション研修</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内講師、外部講師による講演など</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 採用時オリエンテーション（看護部長、病棟看護科長）</li> <li>2. 看護助手の役割及び待遇</li> <li>3. 介助技術トレーニング</li> </ol>
対象者	入職1年目	入職後1年目	卒後4～5年目	卒後5～6年目以上	主任・科長	卒後3年以上	看護職員全員	看護助手全員
回数	4回/年	4回/年	6回/年	7～8回/年	不定期	1回/年（発表）	2～3回/年	6回/年
時期	5月、9月、翌1月、3月	5月、9月、翌1月、3月	4月～翌3月	6月～翌2月	4月～翌3月	5月～翌2月	適時	
講師	院内講師 外部講師	教育委員	教育委員 外部講師	院内講師、外部講師	院内講師 外部講師	外部講師	院内講師 外部講師	院内講師 教育委員